

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 2

団体名	O-garu(オーガル)			
事業名	O-garu 親子体験講座			
実施期間	令和3年9月～令和4年2月			
事業の目的及び期待する効果	<p>体験講座を通して、子どもの自己肯定感を高めるとともに、家庭教育を考えるきっかけを作ることができると考えているため、広く周知して、なるべく多くの親子に参加してもらいたいと考えている。</p> <p>コロナ禍にあり、人数を制限せざるを得ない状況だが、感染症対策をしっかりとりながら取り組んでいきたいと考えている。</p>			
実施額	事業費	131,760円	助成額	126,050円
事業内容	<p>○自然体験講座 6回開催済み、今後2回開催予定</p> <p>○製作体験講座 4回開催済み、今後開催予定なし</p> <p>○その他講座 5回開催済み、今後開催予定なし</p>			

○事業の日程について<実施済み分>

2 / 2

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
6月27日(日)	<助成対象外開催>「畑に植えてみよう」(いろいろな野菜の苗や種を植える体験をした)	親子6組	5組15人
7月4日(日)	<助成対象外開催>「たき火」(ファイヤースターターを使って火おこし体験をした)	親子6組	5組15人
7月17日(土)	<助成対象外開催>「水で遊ぼう」(なえぼ公園の川で遊んだり水について学んだ)	親子6組	2組4人
10月10日(日)	「はたけ講座:やさいを学ぶ」(いろいろな野菜のことを学び収穫体験をした)	親子6組	5組15人
10月16日(土)	「秋を探しに行こう!」(秋の公園で落ち葉や木の実を拾って観察した)	親子6組	3組7人
10月30日(土)	「秋を閉じ込めよう」(秋の公園で集めた葉っぱなどをレジンで固めて飾りを作成)	親子6組	6組15人
11月6日(土)	「ディズニーネイチャー」(DVDの映像を観ながら自然について学んだ)	親子6組	2組4人
11月14日(日)	「よせ木」(大きさや違う種類の木を組み合わせて好きなものを制作する)	親子6組	4組9人
11月27日(土)	「縄なえ」(スゲを使って昔ながらの縄を作る方法を学んだ)	親子6組	2組4人
12月11日(土)	「クリスマスリース」(ぶどうのツルのリースを飾りながら由来を学んだ)	親子6組	6組15人
12月19日(日)	<助成対象外開催>「しめ縄」(日本の伝統を学びながらしめ縄を作った)	親子10組	8組20人
12月19日(日)	「デコキャンドル」(色のついたロウを使って白いキャンドルを飾る工作)	親子6組	6組15人
12月26日(日)	「カードゲーム」(様々なカードゲームをみんなですごした)	親子6組	4組11人
1月5日(水)	「おもしろスゴロク」(立体のものなど、おもしろいスゴロクをみんなですごした)	親子6組	2組6人
1月8日(土)	「石のハンコ」(石のハンコを少しづつ掘りながら制作)	親子6組	2組4人

○事業の日程について<実施予定分>

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
2月26日(土)	「雪遊び」(からまつ公園で思いっきり雪遊びを楽しむ)	親子10組	—
3月5日(土)	<助成対象外講座>「イグルーを作ろう」(親子で力を合わせてイグルーを作る)	親子10組	—

○事業評価について

1. 事業の目的の達成度

コロナ禍にもかかわらず、毎回数組の親子の参加があり、オーガルの活動の必要性を改めて感じた。夏のちょうど外遊びがたくさんできる時期にコロナによる規制がかかっていたので、残念ながら活動は少なくなりました。活動再開後はできるだけ講座を開催しようと月の活動回数を増やした。保護者の方からも好評で、今後も親子で体験と学びを深めていきたいとお話も頂いている。今後もできる限りの講座を実施していきたいと考えている。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

外に出る機会は昨年度よりは増えたとは思いますが、オーガルの講座に参加すると、日ごろ家ではなかなか学んだり体験できないことができるので、多くの保護者は感謝していた。改めて親子で楽しく学びながら何かを体験することの大切さを感じた。

3. 今後の事業について

次年度以降も、同じように毎月の講座を行っていきたい。

4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等